

こんにちは！<市議会報告 vol.14>

川本まさき



御所市議会議員

6月定例会は6月13日から21日まで

で、9日間開かれました。私の一般質問は6月15日に行いました。主なやり取りは下記のとおりです。

採決では、市長から提出された御所市税条例等の一部改正を始め、最終日に追加提出された令和4年度一般会計補正予算(詳細は裏面)等全ての議案に賛成しました。提案された議案はすべて可決されました。

「葛城の道」の整備・充実

(川本)「葛城の道」は御所市の金剛・葛城山麓を南北につなぐ道で、約13kmあり、歩くと丸一日かかる。櫛羅の六地藏から、九品寺、高丘宮跡、一言主神社、長柄神社、郵便名柄館、中村家住宅、春日神社、高木神社、住吉神社、極楽寺、橋本院、高天彦神社、菩提寺、八幡神社、高鴨神社と続く。ここに5世紀に栄えた葛城氏の王都跡で、当時の日本列島最大の集落であった南郷遺跡群が加わる。古墳時代から室町時代、江戸時代や大正時代の建物まで重層的で多様な文化財に会うことができる。ここに、令和の時代に新しく歴史博物館が建設されれば、さらに魅力ある観光ルートになる。今回は、歴史博物館建設の他に、別途整備すべき点について提案したい。

南郷遺跡群の各発掘場所に「看板」設置とアクセス道路の整備

(川本)現在、南郷地区に南郷遺跡群の案内看板が立っているが、ここに表示されている、例えば高殿であった「極楽寺ヒ

ビキ遺跡」、水のまつりを行った「南郷大東遺跡」、祭殿であった「南郷安田遺跡」、武器生産を行った工房の「南郷角田遺跡」など、実際の発掘場所に説明文を記した「看板」を立てるとともに、そこに至る適切なアクセス道路を整備できないか。

(教育長)南郷遺跡群は、古代の広大な遺跡群で、当時の有力豪族であった葛城氏の本拠地であったと考えられている。現在、各遺跡は圃場整備で水田に戻され、正確な場所が判明しにくくなっている。看板の設置など、観光客の利便性を高める手立てを研究し、講じていく。

(理事者)各遺跡への適切なアクセス道路は観光施策にも重要な要素。用地等、地元や地権者の協力が不可欠だが、今後、関係部局とも連携しながら、慎重に検討していく。

(川本)前向きな回答だと思うが、大事なことは、いつ頃どれくらいの期間で、それをやろうとしているのか、ということ。

(理事者)看板については、観光という観点からも早急に進めていきたいという思いはあるが、地権者の理解が必要となる。
(市長)今後、南郷遺跡は御所市の観光あるいは歴史の発信拠点になり得る重要なものだと思う。本年度にいろいろ計画を立てて、次年度以降の動きになるかどうかと思う。具体的な形で何かアクションを起こしていきたい。

重要文化財「中村家住宅」の再公開

(川本)中村家住宅は、御所市で現存する建物の中で最も古く、江戸時代の慶長年間(1596年〜1615年)に中世

吐田城主の子孫中村正勝氏によって建てられたと推定される代官の家で、昭和43年に重要文化財に指定されている。現在、中を見ることはできないが、これを市が買い取り、適切な維持管理をして再び、公開できないか。「葛城の道」の目玉スポットになると思う。

(教育長)中村家住宅は、昭和43年に国の重要文化財に指定され、昭和47年から昭和49年の2ヶ年で奈良県教育委員会による解体修理が実施され、今にいたっている。学術的価値や観光的な魅力は非常に高く、公開が待たれる公建築であることは間違いない。前の主人が亡くなられた後は、家族が遠方から定期的に戻られ管理されているが、内部は基本的に非公開となっている。しっかりと管理されていて、今すぐ買い取りの話を進めるのは難しいと思うが、まずは年に数度の公開日を設け、希望者に見学してもらえようかな形をとれないか、所有者や地域の方々とともに検討を進めていく。

(川本)私は入場料を頂いてもいいと思う。そして、中を案内説明する人、ガイドの方を配置して受付も兼ねて、地元の方を優先的に採用されてもいいと思う。年に数回であればそこまでいくかどうかはあるが、長期的にはそういう方向を模索されてもいいのかなと思うが、如何か。

(教育長)今、言われたことは一つの有効な手段かなと思う。検討していく。

南郷周辺に「公衆トイレ」の設置を

(川本)「葛城の道」には何か所か公衆トイレが設置されているが、充分とは言えない。特に、名柄から佐田、井戸、南郷地区の約3.5kmの間には公衆トイレがな

いが、地元の方で土地を無償で提供してもらいとおっしゃる方もおられる。設置に向け、努力していただけないか。

(理事者)現在、葛城の道沿いには11カ所の公衆トイレがあるが、指摘の場所にはない。市全域の観光施策の観点から、他地域とのバランスや緊急性、必要性などを改めて検証するとともに、土地提供協力者や排水に係る周辺地権者の同意、清掃や維持管理についての地元自治会との調整が必要なことから、慎重に検討を進めていく。

(川本)当然、今日にあつては浄化槽を設置して水洗トイレにすることが必要だと思う。来られた方に行き届いた配慮をしているなど感じてもらうことが重要と思うが、どうか。

(理事者)近年、特にトイレの重要性を痛感している。名柄南郷間にトイレは必要と考えているので、前向きに進めたい。

(川本)御所市第6次総合計画というものがある。これは、2021年から2029年までの9年間の基本構想・基本計画を定めたもので、観光については、「ツツジのシーズンに観光客数が偏っていることから、1年を通して集客が求められる。そのために既存観光資源の魅力向上やネットワーク化、観光客受け入れ体制の整備等、観光産業の底上げが必要。また、貴重な地域資源である自然・歴史・文化を生かしたまちづくり」としている。これらに照らしても南郷遺跡群への看板設置とアクセス道路の整備、中村家住宅の再公開、公衆トイレの設置は最重点と考えるが、市長の見解は。

(市長)御所市の一つの大きな課題として観光がある。トイレについては先ほどの

